

『債権書類管理システム』のご紹介

金融機関様の資産である債権書類の集中業務において、「モノの管理」は勿論のこと「リスク管理」の両面を考えると、管理システムの導入(管理システムでの運用)は、不可欠ではないでしょうか。

弊社「債権書類管理システム」は、発売以来20数年が経過し、多くの導入先様から貴重なご意見をいただき、実運用にマッチしたシステムをご提供しております。

機能概要

PKG基本

入出庫機能(バーコード対応)、ホスト連携機能、不備情報管理機能、在庫照合機能、移管処理機能、管理帳票出力機能

オプション機能

受付処理機能

在庫照合RFID対応

イメージ処理機能

フリーロケーション

営業店Web機能

完済書類保管

契約書類印刷システムオプション ※1

電子契約サービスオプション ※2

他、豊富なオプション機能で債権書類集中業務をサポートします。

※1 融資の契約書類を印刷する「契約書類印刷システム」です。

※2 上記印刷に加え、弊社劔データセンターを利用し、「電子契約」を行う機能です。(※1のオプション)

発生から廃棄までのトータル管理

従来の「債権書類管理システム」のフロント及びエンド部分を補強し、債権書類の発生から済書類の保管・管理(完済書類を集中保管される金融機関様向け)まで、債権書類に関わる管理をトータルに行うことが可能になりました。

融資稟議
決済

融資実行

管理・回収

完済

廃棄

契約書の
発生

約定書を
集中部署へ

約定書の
集中保管

完済約定書
の集中保管

完済約定書
の廃棄

債権書類管理システム

契約書類印刷システム
システム

債権書類管理システム
(本体機能)

完済書類保管
オプション

RFIDオプションについて

ICタグ利用の棚卸メリット

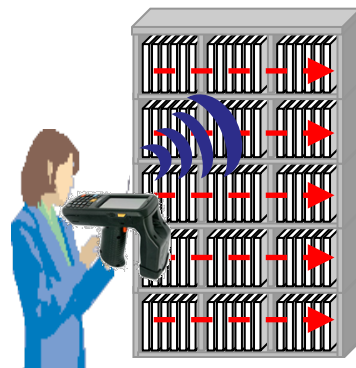
複数書類を一括認識

バーコードは、1先1先の読み取りでしたが、ICタグは、リーダにかざすことで、複数枚を一度に読み取りすることが可能。



書類を動かさず棚卸

ハンディタイプのリーダを利用し、現物を棚から抜き出すことなく、棚の前でハンディをかざすことで、棚卸が可能。



所在不明書類の探索

あるべき場所(金庫内)にあるべき書類がなかった場合、当該ICタグ固有のIDをハンディに入力し、金庫内書類のICタグを読み取り。対象が見つかったところで、ブザーが鳴ることで、おおよその位置を特定することが可能。※1



【ICタグご利用の注意点】

ICタグは、金属に接していると読み取りにくい等、保管状況によっては、読取りできない場合があります。

ICタグ版の拡張性・応用

①ゲート利用

⇒金庫室前にICタグを読み取るゲートを設けることで、不正な入出庫を牽制

②メール便への対応

⇒営業店の発送手続きからICタグを利用し、メールセンターを含め授受効率化

③重要物管理への対応

⇒管理対象範囲を広げ、金融機関で抱える大量の媒体(CD等)等重要物への活用